園芸情報(R2-12 月号)

「園芸導入事例」、「支援事業」、「研修案内」など紹介します

1億円産地を目指して!

令和元年7月に策定された「新潟県園芸振興基本戦略」に基づき、園芸生産拡大に向けた 取り組みを関係機関一体となって推進しています。

今回は、市内 JA 北蒲みなみが掲げた「産地育成計画」の品目の中から、「キャベツ」を作っている農家さんを紹介します!

○栽培農家さんに聞きました!~キャベッ編~

* キャベツを選んだ理由を教 えてください

キャベツを作り始めて、4年になります。雪の下になっても大丈夫なものを作りたいと思いキャベツを選びました。寒さに強いので、春先まで収穫できます。

* 工夫をしていることはありますか?

水はけのよい土壌を選んで作っています。また、連作障害を防ぐために輪作でほ場を変えるなど工夫をしています。

*どんな人が向いていますか?

キャベツは他の作物に比べ、手間がかからないので作りやすい作物です。冬季が収穫時期になるため、 寒い中外で作業ができる根性のある人が向いていると思います。

* 今後の目標をお願いします

規模を拡大していきたいです。初めは1反からスタートし、昨年は4反、今年は8反と順調に面積を増やしています。今年から加工用の出荷にチャレンジしています。JAと協力し、販路の拡大に取り組んでいます。

* 留意点やポイントはありますか?

害虫対策として防除が大事ですね。あとは、定植の時期が少しでも遅れると、キャベツが成長してくれませんので適切な時期に植えることがポイントです。また、10~12月に継続して収穫できるように月ごとに品種を選んでいます。12月は、寒さに強い品種を選んでいます。

*やりがいを感じるときはどんな時ですか?

自分が作ったキャベツを学校給食で子どもたちに食べてもらえた時です。学校給食に出しているのですが、たくさん注文をいただいています。

【遠藤さんの作業スケジュール】 ○:播種、△:定植、■:収穫

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
						O	$\overline{}$					
キャベ							0-					
ッ							_	1				
								\triangle				

★生産者メモ

遠藤将人さん(29歳・水原地区)

• 就農: 9年日

・栽培品目:キャベツ(8 反)・いちご(9 畝)・ えだまめ(4 反)・じゃがいも (4 反)

・出荷先: JA(学校給食・スーパー)・ 直売所

• 従業員: 主に家族 (繁忙期のみ臨時雇用)



NOSAI からお知らせ

【園芸施設共済の補償が拡充】 ※令和2年9月2日以降の加入申込時に選択できます

①補償割合引き上げ特約の導入

これまで80%が上限だった補償割合が、特約を付けることで、90%または100%まで補償割合を引き上げることができるようになりました。

②小損害不てん補(共済金の支払対象としない額)に新コース追加

小損害不てん補の選択肢に「1万円を超える損害」の特約が追加されます。この特約を選択することでより規模の小さい損害でも共済金をお支払いできるようになりました。

③復旧費用特約の拡充

耐用年数を経過した施設であっても80%まで補償が拡充され、業者を介さず自力で復 旧した場合も補償の対象となりました。

【問い合わせ】新潟県農業共済組合下越支所 園芸施設係 TEL0254-33-3904

園芸関連支援事業紹介

① 園芸ヘルパー助成事業(新規)

~定植や収穫作業時の繁忙期に臨時雇用する作業員の賃金を支援します~

• 対象者:<u>産地育成品目*</u>を生産する農業者、農業法人、生産組合等 **※以下の11品目**」です。

えだまめ・そらまめ・カリフラワー・ねぎ・キャベツ・たまねぎ・さといも・トマト(ミニトマト含む)・ぶどう・いちじく・冬野菜(小松菜、ほうれん草、春菊など)

補助額: 臨時雇用経費の 1/2 以内(上限額 10 万円)

・要 件: ①露地で概ね 20a 以上、施設ハウスで概ね 2a 以上の作付を行い臨時雇用すること。 ※但し、家族、構成員は除く

②市場、直売所出荷および学校給食等を販売目的に作付すること。

② 園芸ハウスリニューアル事業 (継続)

~園芸ハウスのリニューアルに必要な経費を支援します~

• 補助対象: 園芸ハウス本体及び附帯設備の更新等に係る経費(工賃含む) 例:ハウスビニールの張替え、遮光の内張り、防風ネット等

• 補助額:補助対象経費の 1/2 以内(上限額 50 万円)

(事業費が20万円を超えるもの)

• 要 件:野菜・果樹・花卉の生産・販売に取り組む農業者等

園芸ハウスは保険に加入していること。



阿賀野市イメージキャラクター 「ごずっちょ」

★JA・農林課・普及センターでは、さまざまな品目の栽培指導や支援を行うなど、園芸生産をサポートしています。 ご興味がある方は下記までお問い合わせください。

【問い合わせ】 OJA北蒲みなみ 営農センター(樋口・小林) TEL62-2235

○新発田農業普及指導センター(花・果樹)

OJAささかみ 本所営農課(石山) TEL25-7252

 ○新発田農業普及指導センター(野菜)
 TELO254-26-9126

TEL0254-26-9155

〇阿賀野市農林課農林振興係(直通) TEL61-2478